

## ノアとの契約:Covenant with Noah 創世記 9 章 1～17 節

神はノアとその子らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ。地の獣、空の鳥、地に動くもの、海の魚のすべては恐れおののき、あなたがたに支配され、すべて生きて動くものはあなたがたの食物となる。さきに青草をあなたがたに与えたように、わたしはこれらのものをすべてあなたがたに与える。ただし肉は、その命である血のままで、食べてはならない。あなたがたの命のためには、わたしは必ず血の要求をする。いかなる獣にもそれを要求する。兄弟である人にも、わたしは人の命を要求する。人の血を流す者は、人に血を流される、神が自分のかたちに人を造られたからである。あなたがたは、生めよ、増えよ、地に群がり、地に増えよ」。神はノアと、彼と共にいる子らに言われた。「わたしはあなたがた及びあなたがたの後の子孫と契約を立てる。またあなたがたと共にいるすべての生き物、鳥、家畜、それに地のすべての獣、すなわち、すべて箱舟から出てきたものは、地のすべての獣にいたるまで、わたしはそれと契約を立てよう。わたしがあなたがたと立てるこの契約は、すべて肉なるものは、再び洪水によって滅ぼされることなく、また地を滅ぼす洪水は、再び起らない。」さらに神は言われた、「わたしと、あなたがた及びあなたがたと共にいるすべての生き物との間に、代々にわたり、わたしが立てる契約のしるしはこれである。すなわち、わたしは雲の中に、虹を置く。これがわたしと地との間の契約のしるしである。わたしが雲を地の上に起すとき、にじは雲の中に現れる。こうして、わたしは、わたしとあなたがた、及びすべて肉なるあらゆる生き物との間に立てた契約を思い起こす。水はふたたび、すべて肉なる者を滅ぼす洪水となることはない。にじが雲の中に現れるとき、わたしはこれを見て、神が地上にあるすべて肉なる、あらゆる生き物との間に立てた永遠の契約を思い起こそう。」そして神はノアに言われた、「これがわたしと地にあるすべての肉なるものとの間に、わたしが立てた契約のしるしである」。

コメント: 神は祝福を与えておられます。そのあとに血を食べてはならない。それに続いて契約です。契約のしるしは虹であると言われます。まず、祝福について。聖書の最初に出てくる箇所は1章22節です。「神はそれらを祝福して、「生めよ。増えよ。海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ」と仰せられた。」【And God blessed them, saying, “Be fruitful and multiply, and fill the waters in the seas, and let birds multiply on the earth.”】神は人を創造されたとき、生めよ。増えよ。と言われ、そのことが祝福のようです。洪水で滅ぼした後、再び、祝福して生めよ。増えよ。と言われました。

そして、肉は血のままで食べてはならないと要求されます。創世記 1 章で創造の経緯のところでは植物を食物とされましたが、ここでは動物の肉も食べるようになっていきます。その時に、血を除外されました。これには何の意味があるのでしょうか。申命記 12 章 23～25 節「23 ただ、血は決して食べてはならない。血はいのちだからである。いのちを肉と一緒に食べてはならない。24 血を食べてはならない。それを地面に水のように注ぎ出さなければならない。25 血を食べてはならない。あなたも、あなたの後の子孫も幸せになるためである。あなたは主の目にかなうことを行わなければならない。」【23 Only be sure that you do not eat the blood, for the blood is the life; you may not eat the life with the meat. 24 You shall not eat it; you shall pour it on the earth like water. 25 You shall not eat it, that it may go well with you and your children after you, when you do what is right in the sight of the Lord.】聖書では、血はいのちであり、贖いです。イエスの血は贖いであり、罪の許しを受けることができます。それが神のみこころであり、新約聖書にその説き明かしが記されています。

虹は契約のしるしだと書かれています。虹という言葉は、弓とも訳されています。虹はちょうど弓を横に置いた状態に似ています。弓を戦いに使うときには、立てて矢をつがいます。戦いがなく、平和のときには、横にしておきます。神は契約のしるしとして、雲の中に虹をおくと言われました。神は戦いではなく、平和を望んでおられる方です。だが、罪を憎まれます。罪ある者を容赦することができません。ヘブル書 9 章 26 節「…今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。」【… now, once at the end of the ages, He has appeared to put away sin by the sacrifice of Himself.】イエス・キリストは人の罪を除くために天から下ってきて、十字架に架かって死なれました。十字架上で血を流されました。神はイエス・キリストが贖いの血を流すことの引き換えとして、信じる者の罪を許してくださいました。神はほかに何ものをも要求されず、ただ恵みによって、私たちを救おうとされました。